

● 本好きでなくても楽しめる図書館の一面 ●

図書館ウォーカー

一旅のついでに図書館へ

オラシオ 著

A5・230頁 定価2,530円(本体2,300円+税10%) ISBN978-4-8169-2952-6 2023年1月刊行

- 2019年11月から青森県の地方紙「陸奥新報」に連載中の人気旅エッセイ「図書館ウォーカー」を単行本化。
- 図書館スタッフとして勤務した経験を生かし、辿り着くまでの過程や街の風物など“図書館の外側”を重点的に描くことで、図書館の重要性や新たな楽しみ方を提案。行ってみたい、住んでみたいと思えるエッセイです。
- 単行本化にあたり、66編を選び加筆・修正、コラムも書き下ろし、旅ガイドとしても機能するように、豊富なカラー写真と公共交通機関+徒歩でのアクセス方法、付近のおすすめスポットなどを追加しました。全都道府県を網羅しています。

【著者略歴】

オラシオ(白尾 嘉規)

ライター、エッセイスト。大阪育ち青森市在住。

2019年11月から陸奥新報で「図書館ウォーカー」を連載中。旅先で訪ねた図書館は350以上。

公共図書館員として8年間勤務経験あり。

「図書館へ行こう!! (洋泉社MOOK)」(洋泉社 2016)、「図書館徹底活用術」(寺尾隆監修 洋泉社2017)に分担執筆や編集協力の形で関わる。

音楽の分野ではコンピレーションCD「ポーランド・ピアノイズム」「ポーランド・リリシズム」(CORE PORT) 選曲解説の他、ライター執筆など多数。

noteフォロワー3.5万超 (<https://note.com/horacio/>)

まえがきより

旅に出た。運転免許を持っていないので、鉄道とバスを乗り継ぐ旅になる。運行本数の少ない地方だからか、乗り継ぎ時間が小一時間ほど空いてしまった。さてどうしよう。(中略)でも、私なら、その街の図書館に行く。だって私は、旅のついでに図書館を訪ねる「図書館ウォーカー」なのだから。本書にはそんな旅の数々が収録されている。


この時点で「旅先で図書館に行っていきたい何をするんですか?」と訊きたくなった方もいらっしゃるだろう。また実際に旅先でも「なぜ旅行者が図書館に来たの?」という反応をされることも多かった。まあそうですね。私も最初は「旅のさなかに図書館に行ってもやることがない」と思っていた。基本的に図書館では、よそから来た旅行者は本を借りられない。その館でしかできないような特別な調べものでもない限り、滞在時間もせいぜい30分どまりだろう。詰んだ。ところが私はいくつもの旅を経て、1冊も本を借りられなくても、むしろ旅先で図書館を訪ねるほうが、よりこの施設を楽しめるのかもしれないと考えようになったのだ。

2022.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	注文書	図書館ウォーカー 一旅のついでに図書館へ 定価2,530円(本体2,300円+税10%) ISBN978-4-8169-2952-6	冊
		 9784816929526	

